

保 健 ・ 体 育

第 1 節 概 要

学校における安全教育の徹底，学校病の予防，学校保健環境の整備，学校給食の普及充実，スポーツの振興及び選手強化は，昭36和年度における保健体育課の努力目標であった。

各学校に学校薬剤師が設置された初年度として，これを円滑に運営し，またその職能をじゅうぶんに発揮させるための重要な課題が与えられている。また近年増加しつつある児童，生徒の事故，災害に対しても，この予防措置を構わずすることは喫緊の急務となった。

去る9月，会津若松市において第16回国民体育大会夏季大会水上競技会が義宮殿下のご臨席のもとに開催されたが，同大会で青年の部では本県選手が個人，団体共に優勝し，万丈の気を吐いた。これは本県のスポーツ振興のための強力な原動力となるもので，まことに喜ばしい限りである。

また，スポーツ振興法（法律第141号）が制定され，スポーツの振興のために地方公共団体のとるべき方策が具体的に示され，本県においても着々とその準備が進行中である。

スポーツ選手の強化については，県内各体育関係団体と提携し，計画に従って強化合宿を行ない相当の効果を収めている。

学校体育については，指導者養成実技講習会を開催し，更に学習指導法の研究を行い，その成果は着々と現われて生徒の体位も向上している。

一般勤労青少年のスポーツ活動は，体育指導委員に対する県中央講習会，各ブロック講習会，研究集会等更にその他社会体育に関する各種講習会等を開催してその道を拓き，逐次軌道を進みつつあるが，今後なお強力な推進をはかりたい。

学校給食の普及充実はまことにめざましいものがあり，これは各学校の給食教育に対する重要性が認識されてきた証差であるといえよう。しかし昭和37年度からは栄養基準が改訂され，これと共に給食費も若干増額を要することとなるので，この円滑な運営について指導の徹底をはかりたい。

結論するに，保健，体育の両面にわたって全国的にその強化，拡充が叫ばれている現在，昭和36年度は本県の保健，体育の飛躍的振興をはかるための踏切りの年であったといえよう。

第 2 節 学 校 保 健

1 第9回福島県学校保健研究大会

6月30日・7月1日の両日，飯坂町立飯坂小学校において開催した。参加人員800名，開会式，表彰式，研究発表，講演，分科会および分科会結果発表等があり盛会であった。特別講演「学校保健の諸問題」と題する文部省体育局長杉江清氏の講演並びに同じく「近視・トラホームの予防と治療について」と題する東北大学教授相沢長徳氏の講演は深い感銘をあたえと共に今後の本県における学校保健の対策について大きな示唆をあたえた。

本研究会の研究主題は四大学校病並びに学校環境衛生とし，保健主事など11分科に分かれて各職域別に，それぞれの立場から研究発表並びに研究討議がおこなわれた。

なお，本大会に県内の学校保健功労者，会津若松市謹教小学校長，三橋重氏外10名が，万雷の拍手の裡に表彰された。

本会が各方面にわたり逐年向上発展していく状況がうかがわれよろこびにたえない。

また，本会の研究集録を編集し，その内容を県内各学校に配布した。

2 学校保健講習（四大学校病）会

児童生徒が学習しながらかかっている病気は数多くあるが，そのうち四つの学校病気を本県で特にとりあげその撲滅計画を立て，その一環として学病予防講習会を春と秋2回開催した。

春の講習会 535名参加

期 日	会 場	受講者人員
4月 24日	平 市	78人
4 25	原 町 市	46
5 1	白 河 市	45
5 2	棚 倉 町	65
5 8	福 島 市	75
5 9	郡 山 市	94
5 10	会津若松市	89
5 11	南 郷 村	43

秋の講習会 410名参加

期 日	会 場	受講者人員
11月 28日	会津若松市	78人
11 29	只 見 町	19
12 6	福 島 市	62
12 1	棚 倉 町	40
12 7	郡 山 市	88